

防災対策調査特別委員会 会議記録

- 1 期 日 令和5年11月17日（金）
午前9時26分 開会
午前10時18分 閉会
- 2 場 所 第3委員会室
- 3 出席委員 委員長 米田 達也
副委員長 義本 みどり
委員 石田 清、木谷 敏勝、
小森 弘詞、福田 嗣久、
村岡 峰男
- 4 欠席委員 なし
- 5 説明員 （別紙のとおり）
- 6 傍聴議員 なし
- 7 事務局職員 総務係長 伊藤 八千代
- 8 会議に付した事件 （別紙のとおり）

防災対策調査特別委員長 米田 達也

防災対策調査特別委員会 次第

日 時：2023年11月17日（金）9：30～

場 所：第3委員会室

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 自己紹介（2頁 名簿）

議 員（正副委員長、各委員） → 当 局 → 事務局

4 協議事項

（1） 席次の指定について（3頁 席次案）

（2） 委員会所管事項について（別添 事務概要）

- 危機管理部 危機管理課
- 健康福祉部 健康増進課
- 都市整備部 建設課
- 上下水道部 下水道課

（3） 委員会の運営方針について

- ・ 重点調査事項（前期）（4頁 別紙1）

（参考）設置要綱（5頁）、前年度活動実績（6頁）

（4） 委員の選出について（7頁 別紙2）

（5） その他

5 閉 会

2023 年度（前期）防災対策調査特別委員会の重点調査事項

- 1 本庁・振興局の防災体制ならびに庁内事業継続計画（BCP）について
- 2 内水処理対策について
- 3 河川・土砂災害対策（円山川緊急治水対策、危険度判定システム等）について
- 4 地震・津波対策について
- 5 高潮対策について
- 6 原子力事故災害対策について
- 7 雪害対策について
- 8 自主防災組織について
- 9 市民（子どもを含む）防災意識の向上について
- 10 感染症対策等について

防災対策調査特別委員会名簿

【委員】

職名	氏名
委員長	米田 達也
副委員長	義本 みどり
委員	石田 清
委員	木谷 敏勝
委員	小森 弘詞
委員	福田 嗣久
委員	村岡 峰男

7名

【当局】

職名	氏名	職名	氏名
危機管理部長	山本 尚敏	危機管理課長	畑中 聖史
		危機管理課参事	木下 喜晴
健康福祉部長	原田 政彦	健康増進課長	宮本 和幸
		健康増進課参事兼保健センター長	村尾 恵美
コウノトリ共生部長	坂本 成彦	農林水産課長	浪華 誠
		農林水産課参事	村田 一紀
		農林水産課参事	山本 隆之
		農林水産課参事	福井 孝道
都市整備部長		建設課参事	北村 省二
		建設課参事	村田 光弘
城崎振興局長	植田 教夫	地域振興課長	藤原 孝行
竹野振興局長	石田 敦史	地域振興課長	山根 哲也
日高振興局長	柳沢 和男	地域振興課長	池内 章彦
出石振興局長	宮崎 雅巳	地域振興課長	三宅 徹
但東振興局長	大岸 和義	地域振興課長	道下 一
上下水道部長	川端 啓介	下水道課長	榎本 啓一
消防長	井崎 博之	本部参事	中地 修
		本部参事	向井 雅人

27名

【議会事務局】

職名	氏名
総務係長	伊藤 八千代

午前9時26分開会

○委員長（米田 達也） それでは、皆様おそろいですので、ただいまから防災対策調査特別委員会を開会いたします。

本日の委員会に当たり、農林水産課、山本参事から、本日の委員会を欠席する旨の申出があり、これを許可しておりますのでご了承願います。

失礼します。皆さん、おはようございます。

このたび防災対策調査特別委員会の委員長を仰せつかることになりました米田でございます。

朝起きますと、11月だというのにアサガオが咲いてましたっていうような先輩議員のように上手に挨拶ができればいいんですけども、とてもちょっと緊張してそれどころではないので、まだまだ新米でございますので、義本副委員長はじめ、経験豊富な同僚議員の皆様からご指導賜りながら、何とか1年やっていきたいと思っております。

そして、何より当局の皆様、若輩者ではございますが、何分よろしくお願い申し上げます。

甚だ簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。

それでは、協議に入りますまでに、今回は役員改選後初めての委員会でございますので、ここで出席者の皆さんに自己紹介をしていただきたいと思います。

まず、正副委員長、各委員、それから当局職員、最後に、事務局という順序でお願いいたします。

先ほどご挨拶させていただきました、委員長をさせていただきます米田でございます。よろしくお願い申し上げます。

○委員（義本みどり） おはようございます。副委員長を仰せつかりました義本です。しっかり学んでまいりたいと思っております。よろしくお願い申し上げます。

○委員（福田 嗣久） 福田です。よろしくお願い申し上げます。

○委員（石田 清） 石田です。よろしくお願い申し上げます。

○委員（木谷 敏勝） 木谷です。よろしくお願い申し上げます。

○委員（小森 弘詞） 小森です。よろしくお願い申し上げます。

○委員（村岡 峰男） 村岡です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○危機管理部長（山本 尚敏） 危機管理部長の山本です。よろしくお願い申し上げます。

○危機管理課長（畑中 聖史） 危機管理課長、畑中です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○危機管理課参事（木下 喜晴） 危機管理課参事の木下です。よろしくお願い申し上げます。

○健康福祉部長（原田 政彦） 健康福祉部長の原田です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○健康増進課長（宮本 和幸） 健康増進課長の宮本です。よろしくお願い申し上げます。

○健康増進課参事（村尾 恵美） 健康増進課参事の村尾です。よろしくお願い申し上げます。

○コウノトリ共生部長（坂本 成彦） コウノトリ共生部、坂本です。よろしくお願い申し上げます。

○農林水産課長（浪華 誠） おはようございます。農林水産課長の浪華と申します。よろしくお願い申し上げます。

○農林水産課参事（村田 一紀） おはようございます。農林水産課参事の村田です。よろしくお願い申し上げます。

○農林水産課参事（福井 孝道） おはようございます。農林水産課参事の福井と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○建設課参事（北村 省二） おはようございます。建設課参事の北村と申します。よろしくお願い申し上げます。

○建設課参事（村田 光弘） おはようございます。建設課参事の村田と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○城崎振興局長（植田 教夫） おはようございます。城崎振興局長の植田です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○城崎振興局地域振興課長（藤原 孝行） おはようございます。同じく城崎振興局の地域振興課長、藤原と申します。よろしくお願い申し上げます。

○竹野振興局長(石田 敦史) おはようございます。
竹野振興局長の石田です。どうぞよろしくお願
います。

○竹野振興局地域振興課長(山根 哲也) おはよう
ございます。竹野振興局地域振興課長の山根です。
どうぞよろしくお願いたします。

○日高振興局長(柳沢 和男) おはようございます。
日高振興局長の柳沢です。どうぞよろしくお願
いたします。

○日高振興局地域振興課長(池内 章彦) おはよう
ございます。日高振興局地域振興課長の池内です。
よろしくお願いたします。

○出石振興局長(宮崎 雅巳) おはようございます。
出石振興局長の宮崎です。よろしくお願
いたします。

○出石振興局地域振興課長(三宅 徹) 出石振興
局地域振興課長の三宅と申します。よろしくお願
いたします。

○但東振興局長(大岸 和義) 但東振興局長の大岸
です。どうぞよろしくお願いたします。

○但東振興局地域振興課長(道下 一) 但東振興
局地域振興課、道下です。よろしくお願
いたします。

○上下水道部長(川端 啓介) 上下水道部長の川端
です。どうぞよろしくお願いたします。

○下水道課長(榎本 啓一) 下水道課長の榎本です。
どうぞよろしくお願いたします。

○消防長(井崎 博之) 消防本部消防長の井崎で
ございます。よろしくお願いたします。

○消防本部参事(中地 修) 消防本部参事の中地
です。どうぞよろしくお願いたします。

○消防本部参事(向井 雅人) おはようございます。
消防本部参事の向井です。よろしくお願
いたします。

○事務局総務係長(伊藤八千代) 失礼します。事務
局の伊藤です。引き続きよろしくお願
いたします。

○委員長(米田 達也) 紹介は終わりました。ど
うぞよろしくお願いたします。

次に、協議事項に移ります。

まず、1、席次の指定についてご協議をお願
いたします。

正副委員長の席は決まっておりますが、各委員の
席について、今お座りの席でよろしいか、ご意見が
あればお聞かせください。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長(米田 達也) ありがとうございます。

特にご意見がないようなので、席次については、
今お座りの席で決定いたします。

続いて、2番の委員会所管事項についてを議題と
いたします。

4月に行われた各委員会での事務概要、また、今
回新たに加わった事務概要の本委員会が該当する
ものについて、その進捗状況を説明していただきま
す。

当局から一通りの説明を受けた後、各委員から質
疑等をお願いたします。

なお、現在、常任委員会、特別委員会の会議録を
市議会ホームページで公開しています。委員の皆さ
ん、当局の皆様におかれましては、必ずマイクを使
用し発言していただきますようお願いいたします。

また、金額や年月日などの言い間違い、個人情報
や未確定事項などについて、不適切な発言がないよ
うに慎重を期してください。

それでは、豊岡市事務概要に基づき、危機管理課
から順に説明をお願いたします。

危機管理部危機管理課、畑中課長。

○危機管理課長(畑中 聖史) それでは、3ページ
をご覧ください。よろしいですか。

○委員長(米田 達也) よろしいですか。

○事務局総務係長(伊藤八千代) ちょっとお待ちく
ださい。

○危機管理課長(畑中 聖史) 事務概要の3ページ
です。危機管理課からは、命を守る行動の普及啓発
ということでございます。

まず、現況と課題です。全国各地で台風や豪雨、
地震による災害が発生してる状況です。災害から命
を守るためには、適切に避難することが重要となり
ます。

昨年度、防災マップを更新いたしまして、8月の
市民総参加訓練では、それぞれの災害リスクに応じ

た避難行動を取っていただくように依頼をしております。しかし、自宅が浸水3メートル以上や土砂災害警戒区域内であるにもかかわらず、自宅2階以上へ避難を予定してる家庭もまだ多くありまして、適切でない避難行動が見受けられるため、命を守るために必要な行動についての普及啓発が求められる状況です。

基本方針として3点上げております。1点目は、基本的な避難行動の在り方の市民への定着です。これにつきましては、さらに4項目上げておりまして、1つ目は、防災マップで災害リスクを理解し、適切な避難行動の普及啓発。2つ目は、自らの判断で避難行動が取れるよう、避難情報の意味と求められる行動について周知をする。3つ目は、マイ避難カードの普及推進。4つ目は、個別避難計画策定に係る取組ということでございます。基本方針の2点目は、地震災害における家具の転倒防止等の普及啓発。それから3点目は、住宅用火災警報器の更新の普及啓発でございます。

4ページをご覧ください。概要ですが、次の進捗状況と併せて説明をさせていただきます。

進捗状況の1点目は出前講座でございまして、26回実施しております。主な内容としましては、風水害に対する備えなどでございます。

2点目、5月区長便で全区長等に「出水期を迎えるに**当**あたっての対応」と題した資料を配付いたしております。主な内容は、市から発令する避難情報の種類とその際取るべき行動などとなっております。

3点目ですが、広報7月号で風水害から命を守るための避難行動の確認をお願いする啓発記事を掲載いたしております。主な内容としましては、災害時に避難するタイミング、場所をあらかじめ決めておくマイ避難カードの作成などでございます。

4点目は、地震を想定し、命を守るため次の3点を市民総参加訓練で実施されるように呼びかけております。事前対策確認訓練としまして、市民総参加訓練までに家屋の耐震化、家具の転倒防止対策を実施。安全確保行動訓練は、地震発生直後に自らの

身を守る行動、まず低く、頭を守り動かないという行動を取っていただくというもの。それから、安否確認訓練は、自宅での安全確保行動訓練終了後にいっとき避難場所に集まっていただいて、安否確認を行うというものでございます。

5ページですけれども、5点目、火災予防運動などに住宅用火災警報器の点検、交換についての啓発を行うというものです。主な内容としまして、全国火災予防運動期間中に消防団員と消防署員が合同で、家庭訪問形式により、防火診断、それから指導を行うというものでございます。

危機管理課からは以上でございます。

○委員長（米田 達也） 健康福祉部健康増進課、宮本課長。

○健康増進課長（宮本 和幸） それでは、6ページをご覧ください。新型コロナワクチン接種の推進についてです。

現況と課題についてですが、新型コロナウイルス感染症に係るワクチンについて、円滑に接種できるよう取り組んでいるところです。

基本方針についてですが、12歳以上の方、5歳から11歳の小児の方、生後6か月から4歳の乳幼児の方への接種を実施するとしています。

概要についてですが、1の接種が受けられる期間については、2023年度の1年間、これは自己負担なしで接種できることになっています。

2の2023年度のスケジュール等についてですが、(2)の2023年度の接種をご覧ください。現在、1つ目の初回接種と3つ目の秋開始接種を実施しているところです。

3の初回接種ですが、対象者は生後6か月以上の方で、接種回数は、生後6か月から4歳までの方は3回、5歳以上の方は2回となっています。使用するワクチンについては、9月20日以降はオミクロン株XBBの対応の1価ワクチンで、接種体制については、12月中は市の施設で行う集団接種で行っていますが、1月からは、市内の協力医療機関で行う個別接種で行う予定にしています。

4の春開始接種については、9月19日までで終

了しています。

次の7ページをご覧ください。現在実施しています5の秋開始接種ですが、対象者は初回接種を完了した生後6か月以上の方で、そのうち、努力義務がある方については、①の65歳以上の高齢者、②の基礎疾患を有する方、その他重症化リスクが高いと医師が認める方ということになります。使用するワクチンについては、初回接種と同じオミクロン株XBBの対応の1価ワクチンで、接種体制は、12月中は市の施設で行う集団接種と市内の協力医療機関で行う個別接種の2体制で行い、1月からは、主に協力医療機関で行う個別接種で実施する予定にしています。

6にワクチンの接種量を記載していますので、ご覧ください。

7の次年度以降の予定ですが、現時点では、国から具体的な方針が示されていないので未定としております。

進捗状況ですが、春開始接種と秋開始接種の接種率を記載していますので、ご覧ください。

説明は以上です。

○委員長（米田 達也） 都市整備部建設課、村田参事。

○建設課参事（村田 光弘） それでは、8ページのほうをご覧ください。雪害対策事業の推進について、現況と課題、概要及び進捗状況についてご説明いたします。

冬季における交通確保では、車道約630キロ、歩道約115キロ、合計で約745キロの市道等を185台の車両により除雪作業を行っていますが、除雪機械等の老朽化が進んでいく中で、受託業者が所有します機械の更新が進まない状況であり、かつ作業員の高齢化により、業者の確保が困難な状況にあります。

概要及び進捗状況です。除雪対策について、(1)除雪機械の更新等は、道路維持作業車更新計画を定め、計画的に更新を進めています。今年度は2台の機械を更新いたします。ア、除雪トラック7トン級を更新し、豊岡地域に配備します。3月中に配備完

了の予定です。イ、ハンドガイド1,220ミリ級、手押し型になります、を更新し、竹野地域に配備します。こちらも3月中に配備の予定です。

(2) 除雪施設の更新等についてです。ア、市道上住1号線ほか除雪施設更新につきましては、昨年度と今年度の2か年で実施しております。11月中の完了を予定しております。イ、市道上町賀島公園線ほか除雪ノズル交換は、2021年度から継続して実施しております。11月中の完了を予定しております。ウ、竹野地区除雪ポンプ更新は、老朽化により揚水能力が悪くなったポンプの更新を行います。11月中の完成を予定しています。エ、市道赤崎江原線除雪施設修繕は、昨年度から継続して実施しております。1月中の完成を予定しております。オ、市道山本日吉線除雪ポンプ揚水管修繕は、ポンプを調査した結果、揚水管が破損しており、揚水管の交換を行っており、9月22日に完了しております。

9ページです。カ、市道中山虫生線除雪施設更新は、昨年度から継続して進めておりまして、2026年度の完成を目指しております。本年度の工事は1月中の完成を予定しております。

(3) です。豊岡市除雪機整備事業補助金3,000万円は、市内の自治会及び地域コミュニティ組織が共助により市道、生活道路等の除雪を行うために購入する除雪機について、その購入経費の一部を補助するものです。除雪機1台につき、対象経費は3分の2以内になっておりまして、上限は150万円です。10月23日時点の申請件数は21件となっております。

以上で雪害対策事業の推進について説明させていただきました。終わります。

○委員長（米田 達也） 建設課、北村参事。

○建設課参事（北村 省二） 私のほうからは、円山川水系河川整備事業の推進についてご説明をさせていただきます。

10ページをご覧ください。現況と課題、概要及び進捗状況についてご説明をさせていただきます。

2013年度から円山川水系河川整備計画を基

に河川整備事業が実施されています。あわせて、危機管理型ハード対策として、堤防強化等が行われております。また、治水安全向上のため、国と県及び市が緊密な連携の下に、住民の意見を尊重しながら積極的な事業の推進を図ることが必要であると考えております。

概要と進捗状況ですが、円山川水系河川整備計画から（１）下流部無堤対策としまして、国によって事業が進められております。瀬戸・津居山地区では、漁協関係者や地元役員へ概略設計での説明会が開催されております。

ひの其他地区では、JRと設計について協議中であるとお聞きしております。また、仮橋撤去工事においては施工中で、進捗率約５％とお聞きしております。

県道豊岡瀬戸線では、兵庫県により舗装修繕工事が順次施工されております。

（２）中郷地区において、遊水地整備が進められております。中郷地区下池では、４つの工事が発注されております。中流部掘削工事が施工中であり、進捗率は約７５％と聞いております。２つ目の排水樋門周辺整備工事においても施工中であり、進捗率は約４０％。３つ目の囲繞堤周辺掘削工事も施工中で、進捗率は約５％。４つ目の護岸整備工事においても施工中で、進捗率は約１％とお聞きしております。

中郷地区上池では、内水対策について地元と調整中でございます。

（３）上流部の無堤対策として、国によって事業が進められております。日置地区では、円山川右岸に位置する向日置において輪中堤整備に伴い、用地取得に向け、地権者と調整をされております。また、橋梁工事では、向日置橋上部工事が発注され、進捗率は約１％。そのほか、向日置川道路改良工事も実施されており、進捗率は約５％と聞いております。

鶴岡地区では、円山川右岸に位置する多田野谷において輪中堤整備に伴い、用地取得に向け、地権者と調整をされております。また、築堤工事では、上流部整備工事が発注され、進捗率は約７５％と聞いて

おります。

日高地区では、昨年、江原墓地入り口付近に暫定での堤防が完成しました。完成形の堤防を整備するため、墓地移転について地元及び関係地権者と調整を行っております。

11ページをご覧ください。（４）堤防強化整備ですが、立野地区においては、張りブロックを堤防ののり面に設置し、強固な堤防を整備しています。予算の配分により、引き続き実施するとお聞きしております。

最後に、要望活動ですが、近畿直轄河川治水期成同盟会連合会で、国交省、財務省、国会議員への要望を行っております。

説明は以上です。

○委員長（米田 達也） 上下水道部下水道課、榎本課長。

○下水道課長（榎本 啓一） 12ページの雨水整備事業について説明をさせていただきます。

現況と課題、基本方針についてですが、雨水整備事業は、雨水幹線39.7キロメートルの計画に対しまして、約16キロメートルの整備を終え、整備率は約41％となっています。今後も市の財政状況を勘案しながらも、雨水整備事業を進めるとともに、内水浸水想定区域図の作成に取り組んでまいります。

概要及び進捗状況については、現在1,000年に一度あるような想定最大規模降雨による内水浸水想定区域図の作成及び下水道の計画降雨に対する浸水シミュレーションなどを行うためのデータや資料収集を進めており、令和5年度事業といたしましては、資料のない国府地区の下水道事業で整備を計画しております主要な排水路となる川田排水路の断面や勾配の測量を完了いたしました。排水路の断面や勾配は、水路の排水能力を知るための資料として使用するものです。

次のページをご覧ください。水色の線に赤色で旗揚げをしている箇所が測量を実施した箇所となっております。

説明は以上です。

○委員長（米田 達也） 説明は終わりました。

質問はありませんか。

村岡委員。

○委員（村岡 峰男） 2点ほど聞きたかったんですが、建設課の雪害対策で、雪害のトラックを2台更新とかあるんですが、何で3月に入るんですか。雪終わっちゃって、このトラックは、来年というか、再来年というか、にしか間に合わないんですね。もっと12月ぐらいの配備はできないんですか。

○委員長（米田 達也） どうぞ。

○建設課参事（村田 光弘） 除雪機の機械のほうなんですけども、コロナから部品の供給が結構滞っております。コロナ前までは、その当該年度に間に合うような形で購入してたんですけども、最近はやっとどうしても3月中の購入になってしまうというような状況になっております。以上です。

○委員長（米田 達也） 村岡委員。

○委員（村岡 峰男） そうなると、発注の時期が遅かったからではなくて、もう日本全国同じような状況というふうに考えたらええんかえ。

○委員長（米田 達也） どうぞ。

○建設課参事（村田 光弘） 実際のお金は交付金を頂いてますので、4月からの申請になってしまいます。その部分でも、どうしても工期のほうに間に合わないという形で、それは全国的な話です。以上です。

○委員（村岡 峰男） はい、分かりました。

もう1点だけ、いいですか。

○委員長（米田 達也） 村岡委員。

○委員（村岡 峰男） 建設課の円山川水系の治水の関係の中郷の遊水地の件で、上池のほうで地元調整中って書いてますね。もう工事始まってるでしょう、何の調整ですの。

○委員長（米田 達也） 北村参事。

○建設課参事（北村 省二） 上池のほうは、今、検討委員会いますか、先生たちで組織された委員会がございます、それでまず、どういうふうな利用するかっていうようなことを今検討されております。それを聞いて、今多分、上郷川だったり、それ

から愛立川、それからもう一つ川ありますけども、その流入方法だとか、そういうことを今検討されております。それについて今地元との協議をされてるというふうに聞いております。

○委員長（米田 達也） 村岡委員。

○委員（村岡 峰男） ということは、内水の処理の問題というふうに考えたらいいかな。

○委員長（米田 達也） 北村参事。

○建設課参事（北村 省二） 内水の処理の問題も含めてということで、基本的には、水生生物の住みやすいそういうため池、ため池ではないですけども、そういうものを今検討されております。それに必要な水をどこから入れるかっていうような議論を今されてるというようなところでございます。

○委員長（米田 達也） よろしいでしょうか。

○委員（村岡 峰男） はいはい。

○委員長（米田 達也） ほかにありませんか。

福田委員。

○委員（福田 嗣久） 危機管理課の最初のページですけれども、基本方針の（4）の地域の要配慮者の避難計画ですけども、私がぼつぼつ考えますに、高齢化してて、これ大変だなといつも思うんですけども、特に健康福祉部の関係なんでしょうけども、計画があっても、大変もう避難すらできないような人がかなり見受けられるような環境にあるんです。それで、今ここ読んでまして、地域の要配慮者ということで、必要な高齢者、いつでもどこへどのように避難するのか地域で決めておく、当然区長さん、あるいは民生委員さん、福祉委員さんが対象での協議になるんですけど、大分進んでるんでしょうかな、こういう話合いとか。

○委員長（米田 達也） 原田部長。

○健康福祉部長（原田 政彦） 個別支援計画については、毎年、4月だったかな、4月頃に更新しております。それぞれの区長さんをお願いして更新しておりますが、実施率、作成率が、今ちょっとデータ持ってませんけども、40%程度だったと思います、40%から50%。5割に満たないような状況でございます。

そんな中で、残りの5割の地区についてはそういう支援計画はお持ちではありませんので、そこは、督促というよりも、何度か要請はするんですけども、なかなか進まないような状況だということで、今それ以上のことは特に何もしてないような状況でございます。

○委員(福田 嗣久) この件について大変今危機感も持ってるんですけども、特に私どもの自分の家で考えても、親を出すためには、両方で抱えてというふうなことがあるし、周りを見てても、1人に対して2人つくような必要がかなりあるなという気がして、この辺の進捗というんか、区長さんや、意識の高い人や高くない人、そりゃ当然ありますんで、どうなのかなと思って聞かせていただいたんですけども、大きなことが起こった場合、大変だなと思いつつながら日々いるので、その辺のことは担当部、担当課としてはまたそういった団体の中でお話がきちっとできたらなという気はいたしておりますんで、よろしくお願ひしたいと思ひます。

それから、話は替わって、積雪うんか、降雪の時期になるんですけども、毎度のことで、なかなか、さっき説明があつたように、大変広い地域で除雪に入るわけですけども、苦情を大変聞きやすい時期になってくるんです。私的には、当然エリアの中で順番があるから仕方ないよという話はするんですけども、それでも個別の市民さんはなかなかね、何で出勤時に空かないんだということを言われる場合も多々あるんで、その辺については、100%はとも不可能だと思いますけれども、できるだけ事前配慮していついていただきたいなというところと、もう一つは、あと除雪の体制の中で、いつ降る分かりませんけれども、特に消防との関係ですけども、夜間の救急搬送、これも非常に多い私どもの地域なんで、入れない場合が多々出てくるという心配もありますので、本当に広い面積と広い延長距離の中で大変だと思うんですけども、できるだけ配慮をした形の除雪体制ができるように、担当課としても頑張つていただきたいなという、これは要望ですけども、それを消防と併せてお願ひをしたいというふうに

思つておりますので、よろしくお願ひします。

○委員長(米田 達也) ほかにございませぬか。

北村参事。

○建設課参事(北村 省二) 先ほど村岡委員のご説明のときに答弁させていただいたんですけども、検討会って言いましたけども、正式名称は、円山川水系自然再生推進委員会ってところで今検討していただいております。以上です。

○委員長(米田 達也) 村岡委員。

○委員(村岡 峰男) これは地元の人も入つとんですね。

○委員長(米田 達也) 北村参事。

○建設課参事(北村 省二) 今のメンバーですけども、兵庫県立大学の大学院の先生であつたり、地元としましては、当然、豊岡土木事務所だつたり、それから国交省、それから各種団体入つてますので、コウノトリの関係だつたり、それから円山川漁連の方だつたり、そういうメンバーで構成されております。

○委員長(米田 達也) 村岡委員。

○委員(村岡 峰男) いや、地元っていうのは、中郷だつたり、市谷だつたり、上郷だつたりというのは、その区の代表は入つてないのかな。

○建設課参事(北村 省二) 区長は入つてません。

○委員(村岡 峰男) 入つてない。

○委員長(米田 達也) 義本委員。

○委員(義本みどり) 2点確認させてください。

1点目は危機管理のところ、訓練実施報告書ですが、これは夏に、たしか各個別に避難カードか何かでどう避難しますかっていうのを個人が書いたものを区長さんに出しまして、それをまとめたものの理解でいいかということが1点目です。

2点一緒に言ったほうがいいですね。2点目はワクチンのところなんです、ワクチン接種現場の保健師さん、随分業務負担が大きかったとこの数年間思われるんですけども、特に今年度組織改編があつて、ちょっと手伝つてっていうことがなかなか保健師さんの中で、人数少ない中で回しててご負担だったと思うんですが、それも12月までで一旦終了、

負担がちょっと減るのかなということ、この2点確認させてください。

○委員長（米田 達也） 畑中課長。

○危機管理課長（畑中 聖史） 1点目のほうですけども、委員おっしゃったとおりで、各戸にどういう避難をされますかっていうことを区長のほうから聞いていただいて、それをまとめていただいたものでございます。以上です。

○委員長（米田 達也） 宮本課長。

○健康増進課長（宮本 和幸） ありがとうございます。

組織改編ありまして、保健師、こども未来課のほうに行きまして、今はこちら残ってる健康増進課の保健師を中心に回しております。でも、やはり足りない場合は何とか応援ということで来ていただいています。

今12月で一応大きな集団接種についてはこれで終わりというふうには思っています。ただ、今後、今年度いっぱいありますので、どうしてもってことでありましたら、ひょっとしたら1月にまた、そんなに大がかりではないですが、集団接種のほうを考えております。ただ、一応12月で一通りめどがつくということです。以上です。

○委員（義本みどり） 分かりました。ありがとうございました。

○委員長（米田 達也） ほかにありませんか。
福田委員。

○委員（福田 嗣久） 建設課の除雪機のこの補助の件ですけども、これは今2回目ですかいな。予算規模3,000万円ですか。21件の申請とありますけれども、今現在で21件なんで、予算枠としてはどれぐらい消化する格好になるんでしょうか、ちょっと教えてください。

○委員長（米田 達也） 村田参事。

○建設課参事（村田 光弘） 申請件数は21件で、今のところ予算的には2,000万円ほど使用しております。残り約1,000万円が今のところ余ってるというような状況です。以上です。

○委員（福田 嗣久） 了解いたしました。

○委員長（米田 達也） ほかにありませんか。

ないようですので、以上で委員会所管事項の事務概要については終わります。

この際、当局の皆様方から特にご発言はございませんか。

ないようですので、以上で当局職員の方は退席していただいて結構です。ご苦労さまでした。

暫時休憩します。再開は10時10分。

午前10時01分休憩

午前10時10分再開

○委員長（米田 達也） すみません、それでは、委員会を再開いたします。

次に、協議事項3番、委員会の運営方針についてを協議します。

本委員会の調査範囲は相当に広く、委員会としては、調査内容を絞り、より効果的、効率的な成果を上げるため、重点調査事項を決めて、それに沿って進めていきたいと考えています。

改めて今期の委員会重点調査事項について協議をお願いいたします。

事務局の説明を求めます。

○事務局総務係長（伊藤八千代） すみません、4ページをご覧ください。4ページに本年10月までの重点調査事項を別紙1としてつけております。2023年前期防災対策調査特別委員会の重点項目としまして、10点ございます。

まず、1点目に本庁・振興局の防災体制並びに庁内事業継続計画（BCP）について、2点目に内水処理対策について、3点目に河川・土砂災害対策について、4点目に地震・津波対策について、5点目に高潮対策について、6点目に原子力事故災害対策について、7点目、雪害対策について、8点目、自主防災組織について、9点目、市民（子供を含む）防災意識の向上について、そして10点目なんですけど、2021年度からこの感染症対策等についてという調査項目を加えております。

2023年度後期の重点調査項目について、前期の項目を引き継いで取り組んでいくのか、また、新

しい項目を加えるかなどをご協議いただきたいと思ひます。

説明は以上です。

○委員長(米田 達也) ただいま事務局から説明がありました今期の重点調査事項について、ご意見等ございますでしょうか。

村岡委員。

○委員(村岡 峰男) 問題ないんですけども、1つだけ、当局帰っちゃってから言うのも何だけど、高潮対策ね、これもテレビ見とったら、しょっちゅう注意報出てるでしょう、毎日ではないけど、しょっちゅう出とるんだけど、この担当はどこするんだ、これは。城崎振興局か。

○事務局総務係長(伊藤八千代) 担当は危機管理課。実際には、過去の防災の委員会が高潮の関係で城崎のほうに現地視察に行ったことがあったりするんですが、建設課とか危機管理になると思ひます。

○委員(村岡 峰男) 建設課と危機管理。

○事務局総務係長(伊藤八千代) はい。

○委員(村岡 峰男) 今日、何の報告もなかったんでね、ごっついこと、しょっちゅうなとるでしょ。テレビの高潮注意報は、豊岡市全部かな、こころ辺関係ないんだけど、海岸線だけなんだけど。見に行ったこともあるんです、高潮のときに。本当に道路削るしな。

○委員(木谷 敏勝) 感染症のこれ、コロナ。

○委員長(米田 達也) そうそう、コロナをどうするかっていう、ですね。

○委員(木谷 敏勝) インフルエンザって言われれば。

○事務局総務係長(伊藤八千代) 感染症対策の補足なんですけど、2021年度のときに一番、コロナ禍だったんですが、コロナ以外にも、インフルエンザもありますし、鳥インフルエンザとか、いろんなものを含めた感染症対策っていうふうにしたほうがいいんじゃないかという当時の委員のほうからの意見でこうなりました。(「うん、なるほど」と呼ぶ者あり)

○委員(福田 嗣久) 感染症対策になつとるな。

○委員長(米田 達也) このままで。

○委員(村岡 峰男) うん、このままでいいん違いますか。

○委員(福田 嗣久) 残したほうがいいんじゃないですか。

○委員(福田 嗣久) そうですね。

○委員長(米田 達也) じゃあ、もうその10点でそのままということ。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長(米田 達也) それでは、そのように決定いたしました。

ほかに何かご意見ございますでしょうか。

それでは、意見等ございませんので、今期もこの10項目を重点調査事項といたします。

続いて、次の委員会では特にどの項目について調査研究を進めていくかをご協議いただきたいと思ひます。

○委員(福田 嗣久) それは、この中から12月定例会の中でのこと。

○事務局総務係長(伊藤八千代) すみません、補足させていただきます。

12月の定例会の委員会のときに重点調査事項に基づいて特別委員会のほうでは委員会のほうを開催するんですが、次何をしていきたいかというのを今の時点で大まかに方向性だけ決めていただければありがたいなということ。(発言する者あり)

過去は、よく管内視察にこの時期、寒いときには行ってたようなこともありますし。

○委員(福田 嗣久) 委員長、副委員長に任せる。

○委員(木谷 敏正) そのときの状況によるでな、雪が降るとつたりして、外でね。

○事務局総務係長(伊藤八千代) 次の特別委員会は12月の22の金曜日です。

○委員長(米田 達也) では、正副委員長にご一任いただいてよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長(米田 達也) 分かりました。それでは、正副委員長にご一任いただきたいと思ひます。それで協議を進めていきたいと思っておりますので、よ

ろしくお願いいたします。

次は、4番、委員の選出についてを協議します。

7ページに別紙2として添付しております議会改選役員等一覧表のうち当委員会に関するものとして、豊岡市災害対策本部出席者があり、委員長が出席することとなっております。以上ご確認お願いいたします。

次に、5番のその他ということで、委員の皆様、何かございましたらお願いいたします。

ないようですので、以上をもちまして本日の防災対策調査特別委員会を終了いたします。お疲れさまでした。

午前10時18分閉会
